

専大校友を訪ねて

行政書士・経営コンサルタント

赤沼 慎太郎さん (平13商)



経営支援の最前線では、コロナ禍の影響をダイレクトに感じている。経営基盤の弱い中小企業への打撃はとりわけ深刻で、資金繰り

事業再生や事業承継、起業支援などを手がける行政書士・経営コンサルタントとして活躍する。大学卒業後、大手アパレル会社で営業や店舗管理に携わりながら、在職中に行政書士の資格を取得。26歳のときに行政書士赤沼法務事務所を設立した。

大学では簿記を学び、独立後に縁あって財務コンサルタントから手ほどきを受けてスキルをみがいた赤沼さんは、法律だけでなく財務にも精通する。資金調達や経営改善の指導ができる行政書士は珍しく、業種を問わず多くの中小企業経営者から頼りにされている。創業以来赤字続いた企業を支援1年目で黒字化、5年目で売り上げ3倍に導くなど、分かりやすく実効性の高いコンサルティングで実績を残してきた。また、財務支援の勉強会「赤沼創経塾」を運営し、実務ノウハウを行政書士や税理士などに伝える活動もしている。

経営者と二人三脚で事業再生に取り組む

に悩む経営者からの相談が後を絶たない。「リーマン・ショック」の大きな違いは、将来の不確実性の高さ。収束が見通せず、経営改善・事業再生への道筋を定めていく。コロナ禍にあつて対応に苦慮することも多いが、今が踏ん張り時だからこそ「何とか力になりたい」という思いが強い。

赤沼さんが書く行動指針の一つに、『For you』ではなく『With you』で行動する「がある。孤独で悩み多き中小企業経営者の良き理解者、頼れる伴走者として、今後二人三脚による支援を続けていく。また、2015年からマレーシアの現地法人や専門家との間で築いてきたパイプを生かし、コロナ収束後には中小企業の海外進出支援を再開する計画も温めている。

社会に出て初めて分かることも多く、「在学中に学んだ法律や簿記の知識が、結果として資格取得やコンサルティング業務に役立っているように、大学での経験や学びは必ず将来につながる」。専修大学21世紀ビジョンにある「社会知性」という言葉にも共感すると話し、「専門的な知識や技術を生かし、主体的に社会の諸課題の解決に取り組む『社会知性』の考え方は、コンサルタントの仕事にも通じる。中小企業が抱えるさまざまな問題を解決するために尽力したい」と言葉に力を込めた。



『専修大学史要』第14号が発表された。本学が寄せている。研究ノートとして本学が寄せている。研究ノートとして本学が寄せている。研究ノートとして本学が寄せている。

『国際コミュニケーション研究』第1号 2020年度に誕生した国際コミュニケーション学部が、学部新設後初となる紀要『国際コミュニケーション研究』第1号を発売した。



このほか、グローバルフロア企画として9月に行われた土屋昌明教授らによる「まだ見ぬ映画の可能性に向けて」と題した対談や教員の論文、研究ノートや翻訳などを収録。口絵では、各教員の研究活動の様子などを写真で紹介している。

就職だより

4年次生へ公務員を目指す学生は、面接カードの記入と模擬面接を早めに始めるようにしてください。毎年、6月中旬以降にキャリア形成支援課への相談が殺到しています。5月は比較的すいていますので、ぜひ利用してください。

22年度春の叙勲・褒章 瑞宝中級章 安藤英義氏(名誉教授・元商学部教授) 教育研究功勞

旭日単光章 門傳仁氏(昭49文・宮城) 農業振興功勞

育友会からのお知らせ 育友会では、ご父母・保護者を対象とした「神田キャンパス見学会」と「就職懇談会」(学生の参加も可)を開催します。

2023入学ガイド



専修大学の学びの特徴や学部学科の特色、キャンパス情報、就職や資格取得の支援体制、入試情報などを紹介する「2023入学ガイド」を5月下旬から配布します。

校友会情報 代議員会 6月18日(土) 15時 神田キャンパス3号館303教室

校友会定時総会2022 日時 7月9日(土) 10時30分(受付10時)

校友新社長紹介 藤田裕一氏(ふじた・ゆういち) 平5(経済) 株式会社ハラスメント対策室長

校友会定時総会2022 日時 7月9日(土) 10時30分(受付10時) 場所 JR・私鉄・地下鉄各線・新宿駅徒歩5分

専修大学・石巻専修大学 「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金

募金目的 A 国際交流の推進支援 B 学生スポーツ活動の振興 C 学生への経済的支援 D キャリアデザインプログラム充実支援 E 学生のボランティア活動支援 G 教員の研究活動支援 H その他

ハラスメントのないキャンパスへ 勇気をもって「ノー」と言おう! キャンパス・ハラスメントは、教員や上司など、職務上の権限で優位にある者が、学生や部下などに、暴言や差別的言動、あるいは嫌がらせなどにより、学修や働く意欲を失わせる行為です。